



2023年3月期 第1四半期決算説明資料

Copyright © SMN Corporation All rights reserved.

01. 事業紹介

02. 2023年3月期 第1四半期連結決算概要




03. TOPICS

04. APPENDIX

01

事業紹介

主要事業の概要

事業	概要	主要商品/サービス
<p>アドテクノロジー</p>	<p>機械学習などソニーグループの研究所で長年培った知見を活かし、「見せるべき人」に「見せるべき場所・タイミング」で広告掲載を可能にすることで、企業のマーケティング投資効果を最大化する商品・サービスを展開しています。</p>	
<p>マーケティングソリューション</p>	<p>広告主に対して成果報酬型コンテンツマーケティングを中心としたマーケティングソリューションを提供するとともに、これまでの知見を活かし、コンテンツマーケティング向けメディアに対しても各種ソリューションを提供しています。</p>	
<p>デジタルソリューション</p>	<p>デジタルコンテンツの制作、QAサービスやラグジュアリーブランド向けECの構築・運営、音声・画像認識技術を活用した課題解決など、デジタル領域における様々なソリューションを提供しています。</p>	

高度な技術力×柔軟な発想力で多様な顧客の課題解決を支援

2023年3月期 第1四半期連結決算概要

02

決算ハイライト

前年同四半期に対して売上・営業利益は増収増益を達成。親会社に帰属する当期純利益については、法人税等調整額の増加等により前年同四半期差は▲8百万円となった。

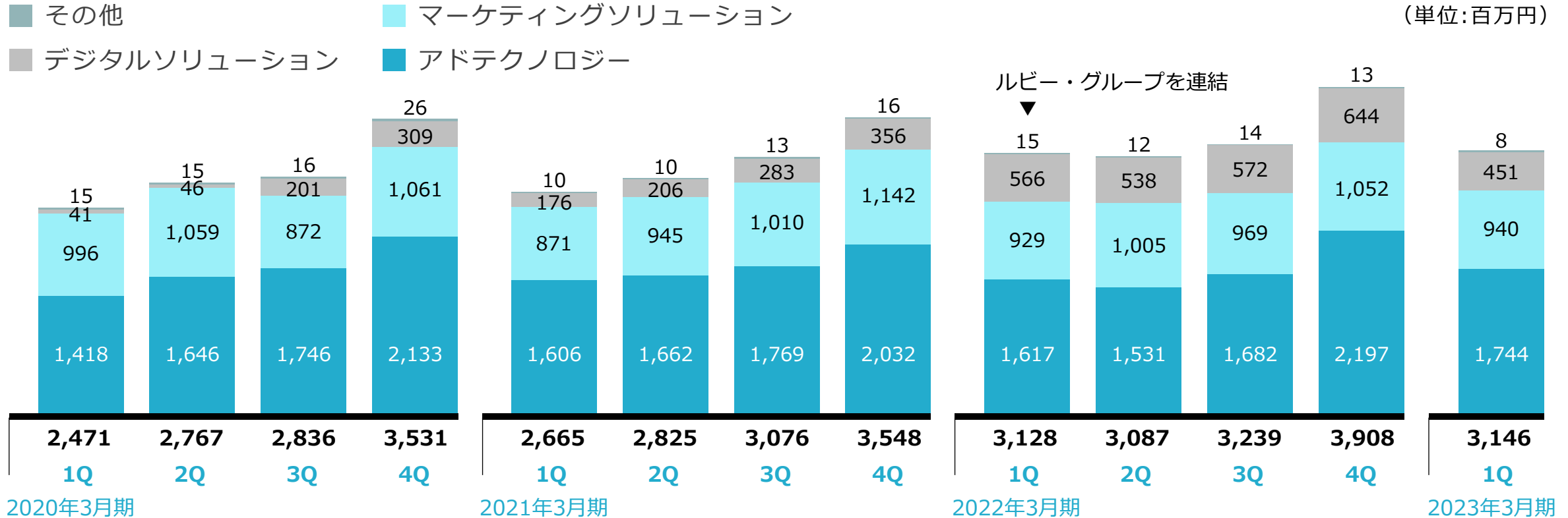
(単位:百万円)

		第1四半期		
		前年同四半期差	前年同四半期比	
連結業績	売上	3,146	+18	+0.6%
	営業利益	▲49	+32	- %
	親会社株主に帰属する当期純利益	▲80	▲8	- %

売上内訳		前年同四半期差	前年同四半期比	
アドテクノロジー	売上	1,744	+126	+7.8%
マーケティングソリューション	売上	940	+11	+1.3%
デジタルソリューション	売上	451	▲114	▲20.2%
(除くルビー・グループ)	売上	190	▲35	▲15.7%
その他	売上	8	▲6	▲41.4%

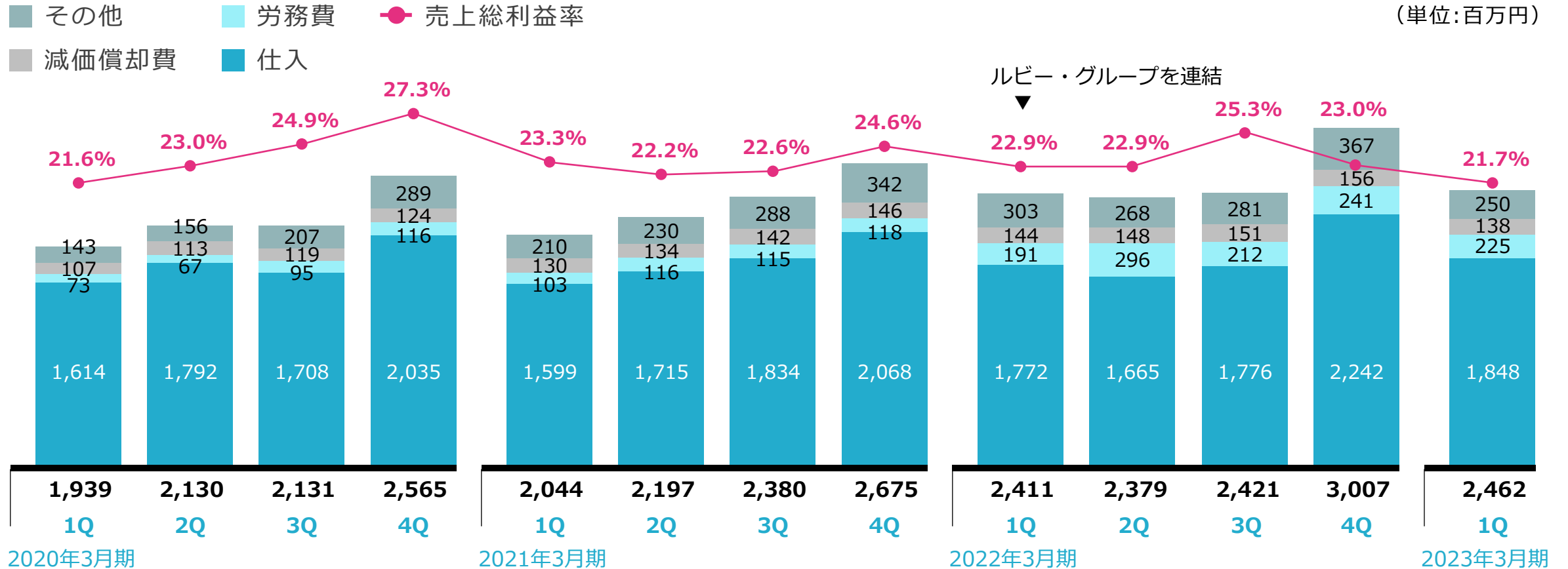
第1四半期業績：売上

全社売上は前年同四半期比+0.6%。デジタルソリューションについてはルビー・グループのサイト開発案件の月ずれの影響等により前年同四半期比▲20.2%と落ち込むも、アドテクノロジーは前年同四半期比+7.8%と伸び、前年同四半期を上回る全社売上を達成。



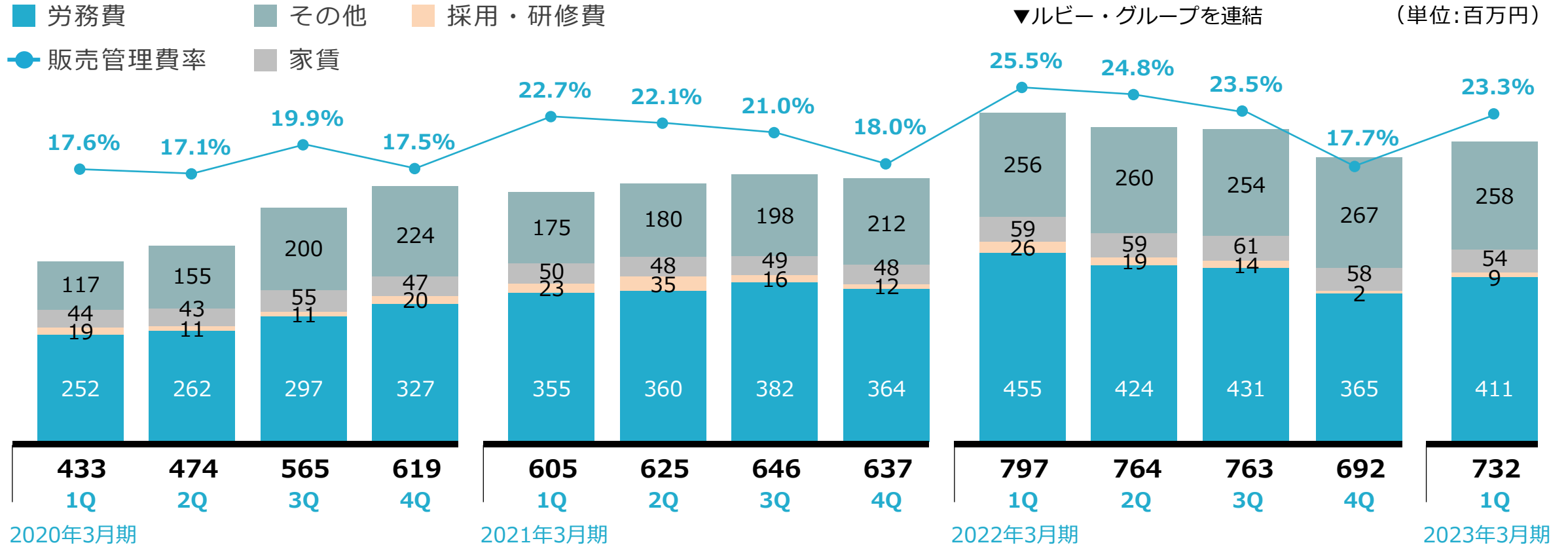
第1四半期業績：売上原価

売上総利益率は、円安影響によるコスト増等により前年同四半期よりも低下。



第1四半期業績：販管費

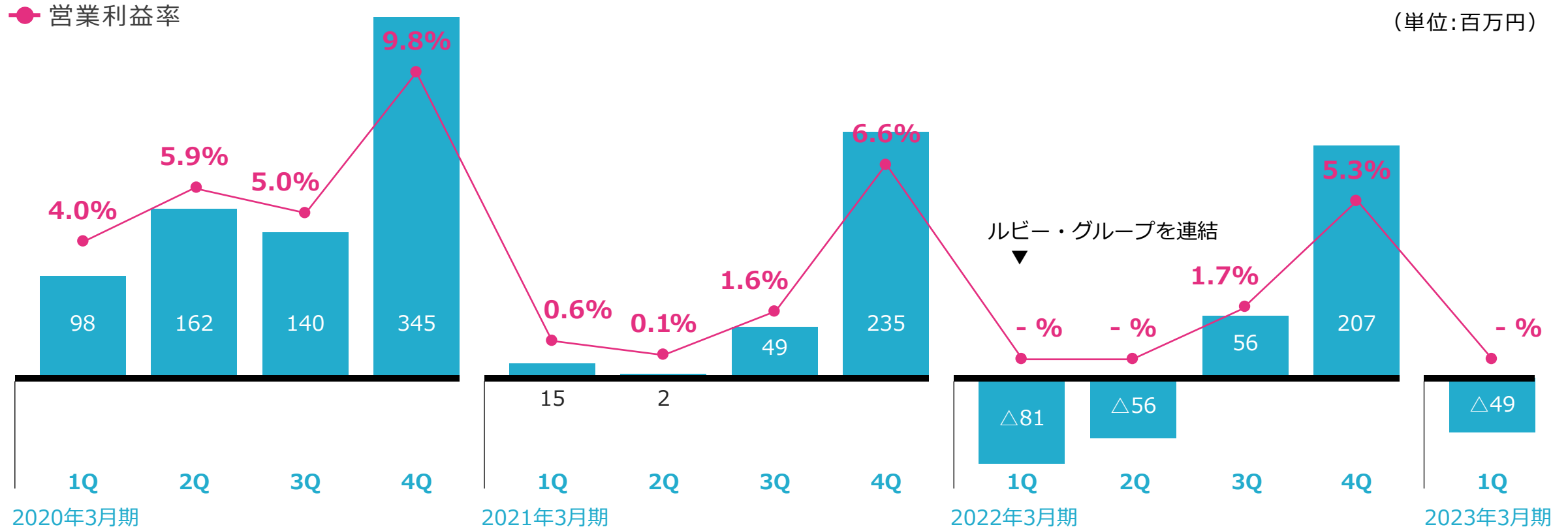
組織再編等により労務費の最適化を継続して進めたことで、販管費率は23.3%と前年同四半期より改善。前期第4Qにおいては賞与引当金の取り崩しがあった影響もあり、前四半期と比較すると販管費率は上昇。



第1四半期業績：営業利益

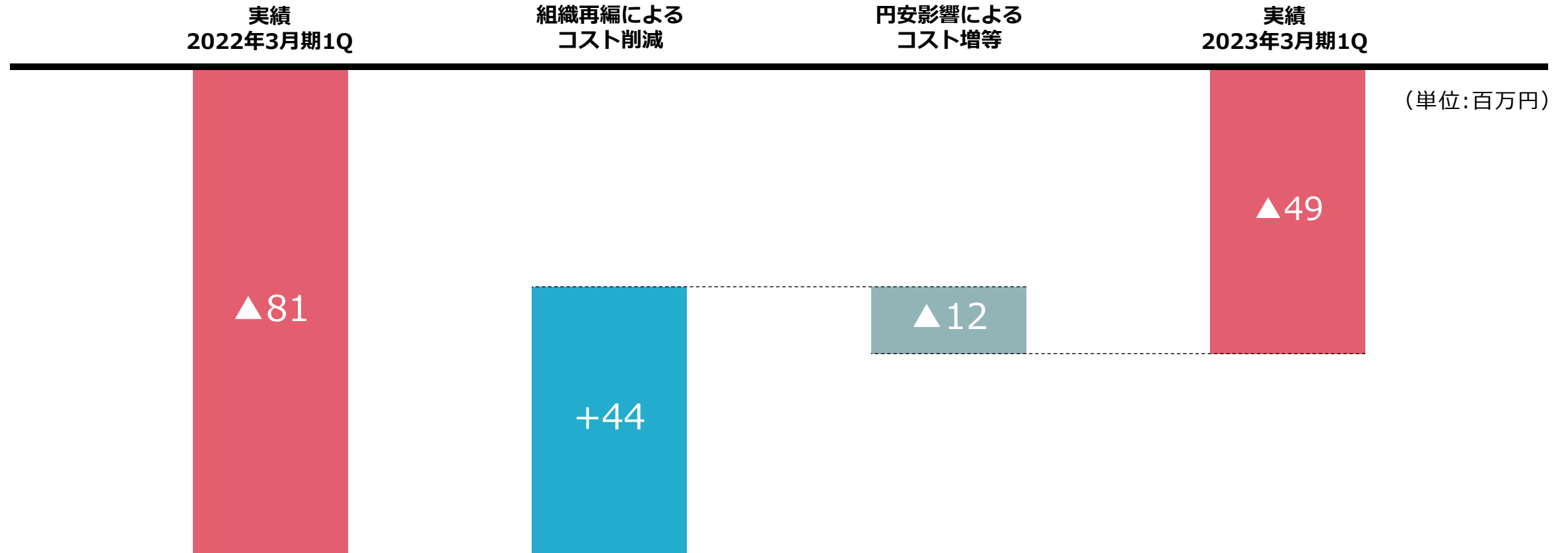
売上については、ルビー・グループのサイト開発案件の月ずれの影響等によるデジタルソリューションの落ち込みがあったものの、アドテクノロジーの伸長により、前年同四半期比+0.6%となった。

営業費用については労務費の最適化を中心に削減し、営業利益は前年同四半期より+32百万円改善した。



第1四半期業績：営業利益増減要因

円安影響によるコスト増により利益の押し下げはあったものの、
不採算事業の撤退等の組織再編によりコスト削減を進めたことで、前年同四半期よりも改善した。



第1四半期業績：貸借対照表

2022年3月期の第4四半期に、ルビー・グループ株式会社の株式取得資金として実施した借入金1,600百万円について長期借入金に借り換えを実行したことにより、固定負債は前年同四半期に対し大きく増加。

流動資産・流動負債については、売掛金・買掛金の減少により前期末比で減少。

(単位:百万円)

	2021年6月末	2022年3月末	2022年6月末	前年同四半期比	前期末比
流動資産	3,880	4,590	4,033	+ 4%	△ 12%
現預金	2,088	2,277	2,363	+ 13%	+ 4%
固定資産	4,189	3,728	3,657	△ 13%	△ 2%
無形固定資産	3,388	2,948	2,922	△ 14%	△ 1%
総資産	8,070	8,319	7,690	△ 3%	△ 8%
流動負債	3,189	2,199	1,690	△ 47%	△ 23%
固定負債	374	1,724	1,667	+ 345%	△ 3%
純資産	4,505	4,395	4,332	△ 4%	△ 1%

TOPICS

TOPICS概要

テレビ視聴データ + 他社データ連携

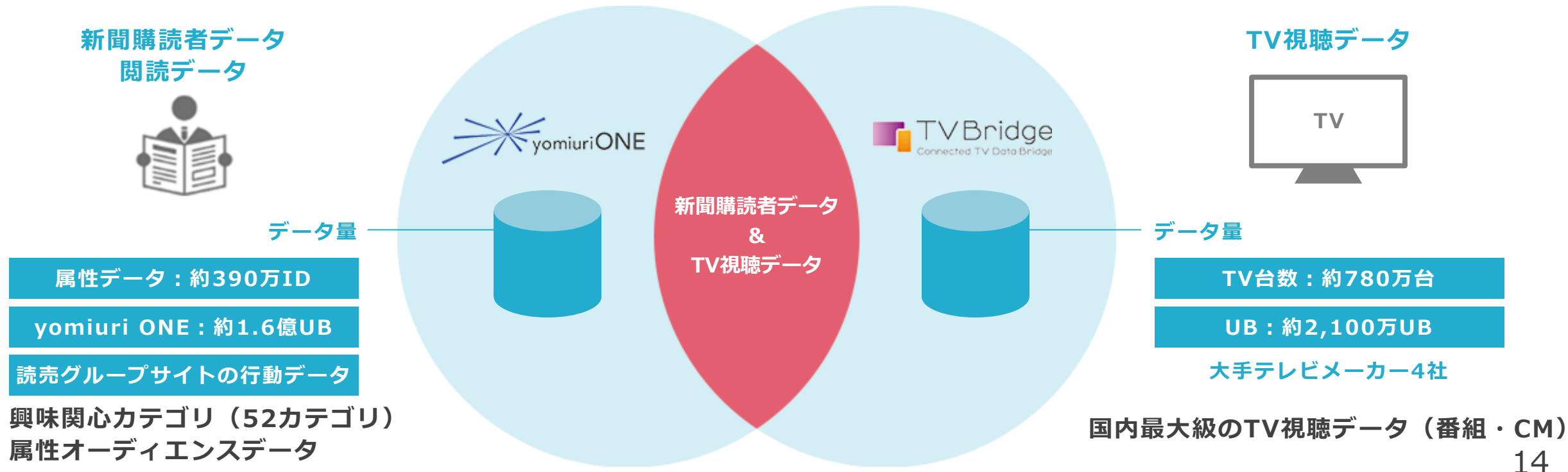
- ・ 読売新聞東京本社との連携による新サービスのリリース
- ・ CCIへのテレビ視聴データの提供

Cookieレス対応

- ・ コンテンツマッチ広告への本文解析機能のリリース

新聞×テレビ2大マス媒体の接触データを連携した 広告配信プラットフォーム「YxS Ad Platform」のサービス開始

4月27日に発表した、読売新聞東京本社との連携による新サービスをリリース。読売新聞グループの保有する新聞読者をベースとした390万IDのデータ基盤「yomiuri ONE」とSMNの保有するインターネット接続テレビ780万台の視聴データ「Connected TV Data Bridge (TVBridge)」を連携させ、新聞とテレビの2大マス媒体の接触データを掛け合わせた国内初の高精度なDSPを7月1日より提供開始した。



TVBridge連携強化：CCIにテレビ視聴データを提供

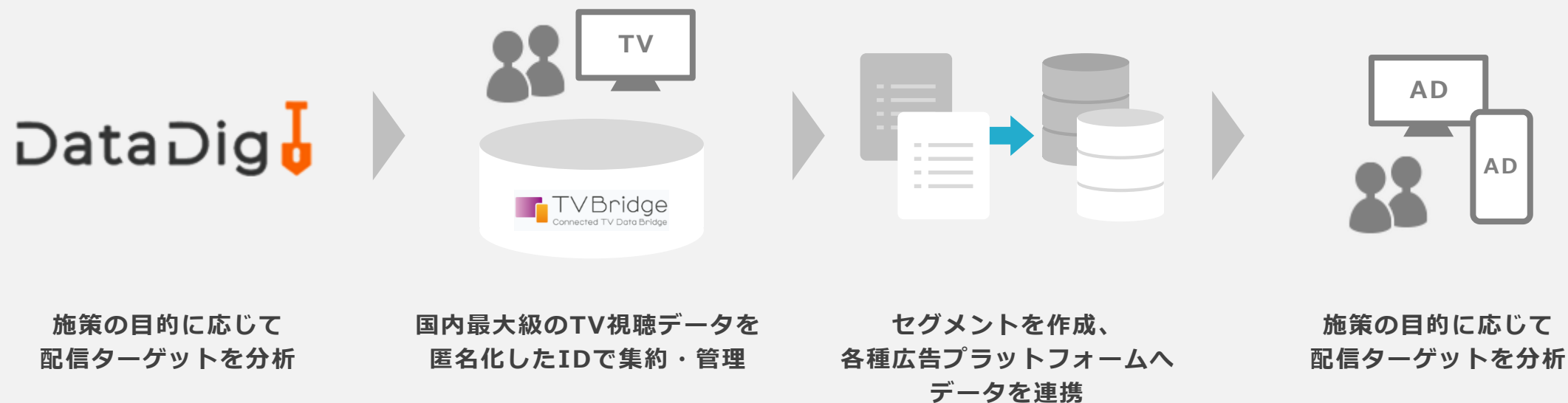
CCIの「Data Dig」の新たなオンオフ統合支援サービスに「Connected TV Data Bridge DMP」のテレビ視聴データ提供を開始。

ターゲット分析

TV視聴

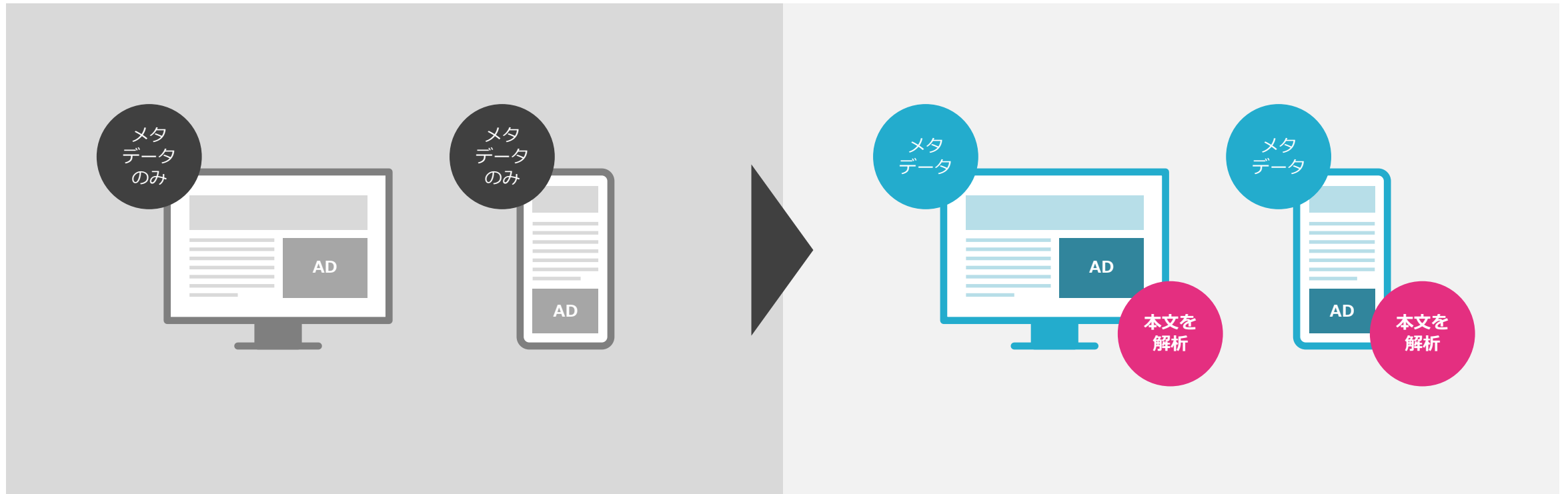
データ連携

広告配信



cookieレス対応：コンテンツマッチ広告の強化

これまでは、メタデータを元に訴求商材とマッチするサイトに対して広告を配信していたが、7月1日よりWebサイト内の本文をAIで解析しキーワードの抽出を行うことで、本文中のキーワードもターゲティング対象となり、より精度の高い配信が可能となった。



組織再編によるコスト削減の取り組み

昨今の経営状態を鑑み、昨年度に不採算案件が発生していたO2O事業から撤退。

あわせて成長に向けた十分な経営資源の確保が難しいと判断したデジタルメディア事業、メディアデータを軸としたソリューション事業を2022年7月1日に売却。

これらによって2Q以降にコスト削減効果が反映され、営業利益の増加に貢献していく見込み。

O2O事業
(デジタルソリューション)

2022年3月末をもって、各種提携関係を解消し、事業撤退済

デジタルメディア事業
(その他)

Webメディア「ニッポンごはん旅」「Maneku」を運営。22年7月1日付で株式会社ロコガイドへ事業譲渡

メディアデータを軸としたソリューション事業
(マーケティングソリューション)

「SPAN」「Balloon」等を運営。22年7月1日付で新設分割により、ソーウェルバー株式会社として宮口文秀氏がMBO

2Q以降に
コスト削減効果が反映され
営業利益増に貢献見込み

まとめ

1

売上は、デジタルソリューションは前年同四半期と比較し落ち込むも、アドテクノロジーの成長により前年同四半期比+0.6%を達成。

2

営業利益は組織再編によるコスト削減効果で前年同四半期+32百万円を達成。コスト削減は今後も継続し、営業利益増の取り組みを進める。

3

読売新聞東京本社との連携等、TVBridgeのテレビ視聴データと他社データの連携を進めることで、商品の独自性を高め、売上拡大を目指す。

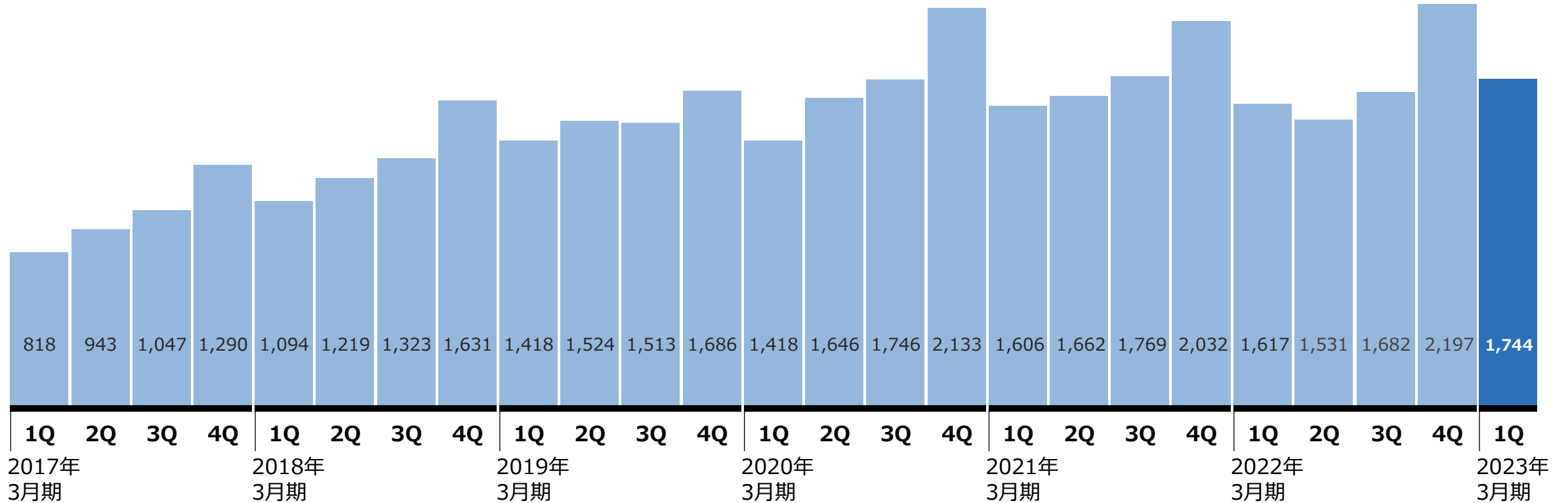
04 APPENDIX

アドテクノロジー：第1四半期業績（売上）

順調に拡大し、前年同四半期比+7.8%を達成

売上高（四半期毎）

（単位：百万円）



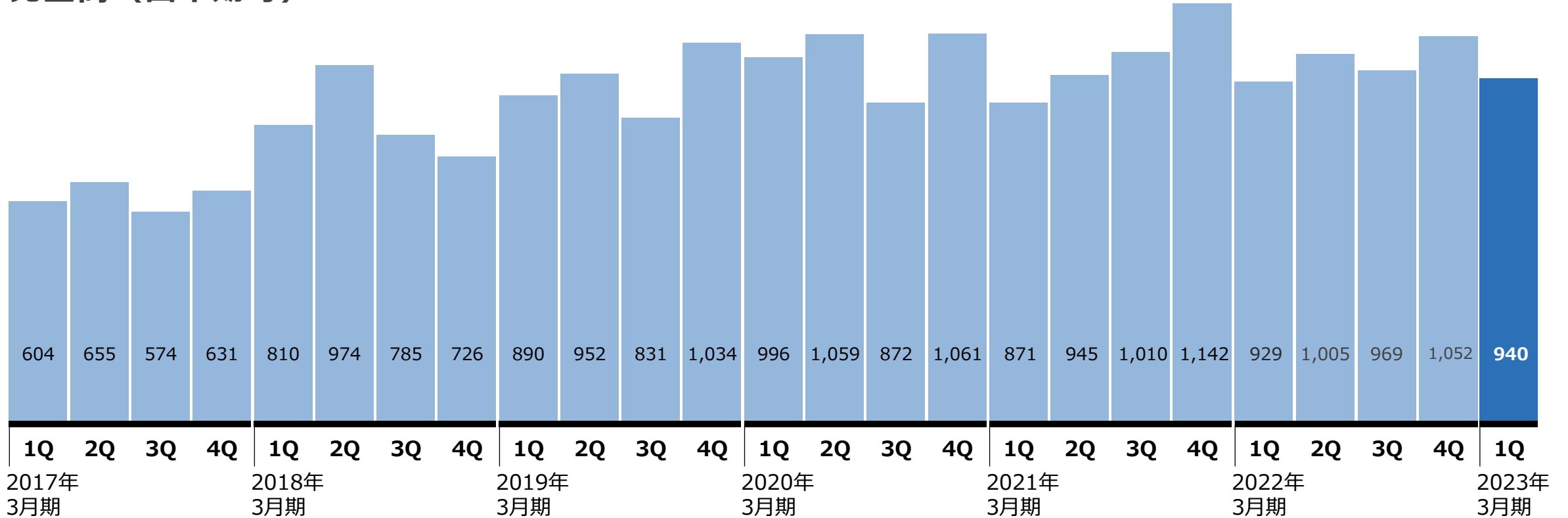
※「アドテクノロジー」の一部の商材を「デジタルソリューション」へと遡及して修正しています

マーケティングソリューション：第1四半期業績（売上）

組織再編準備を進めながらも売上は堅持し、前年同四半期期比+1.3%

売上高（四半期毎）

（単位：百万円）



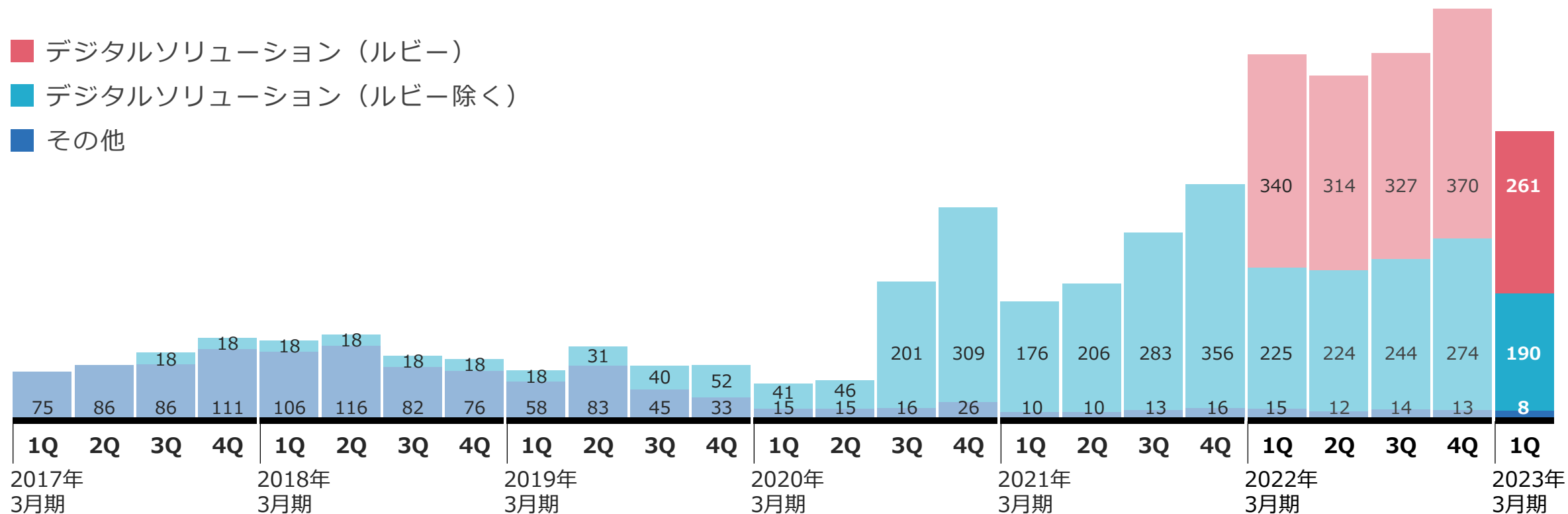
デジタルソリューション、その他：第1四半期業績（売上）

ルビー・グループのサイト開発案件の月ずれの影響等により前年同四半期比▲20.2%。

売上高（四半期毎）

（単位：百万円）

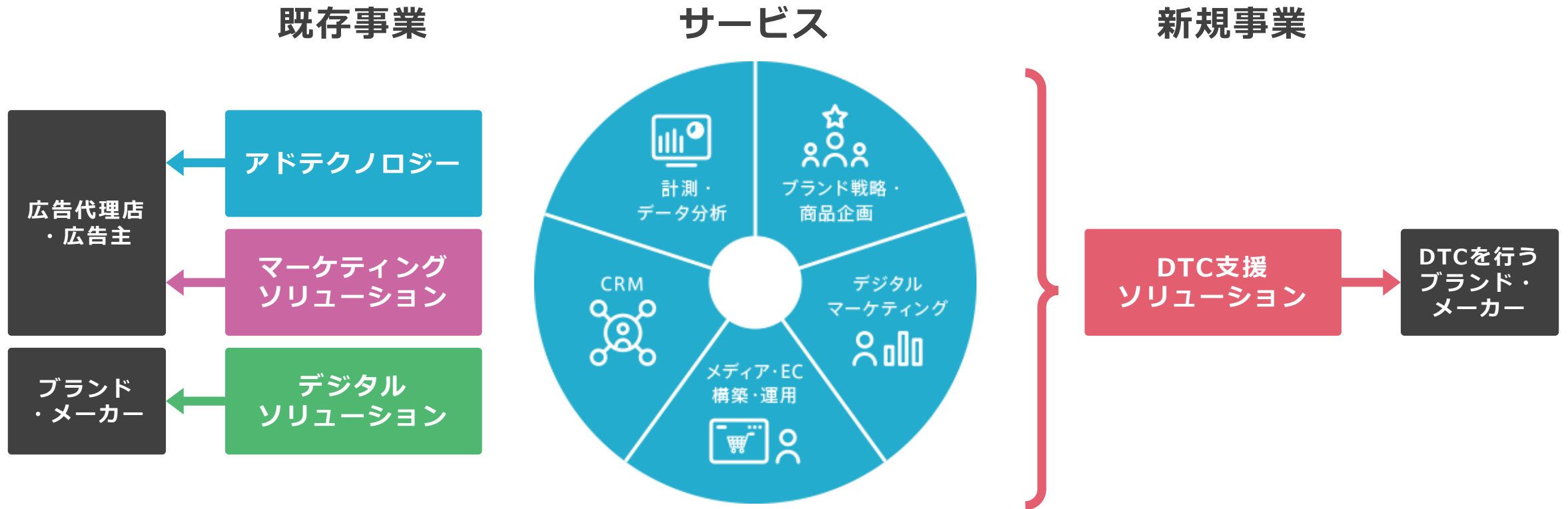
- デジタルソリューション（ルビー）
- デジタルソリューション（ルビー除く）
- その他



※「アドテクノロジー」の一部の商材を「デジタルソリューション」へと遡及して修正しています

中期経営計画基本戦略

新たにサービスを統合したワンストップのDTC支援ソリューションを提供する事で
ブランドと人のコミュニティの構築を支援する



会社概要

会社名	S M N株式会社 (SMN Corporation)
所在地	本社：東京都品川区 営業所：大阪市北区、福岡市中央区 国内連結子会社：SMT(株)、SMNベンチャーズ(株)、ネクスジェンデジタル(株)、 (株)ゼータ・ブリッジ、(株)ASA、SMNメディアデザイン(株)、ルビー・グループ(株) 海外連結子会社：SMN台湾
設立	2000年3月
資本金	10億4,852万円 (2022年6月末現在)
事業内容	マーケティングテクノロジー事業
従業員数	363名 (2022年3月末現在)
主要株主	ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社：59.4% (2022年3月末現在)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	6185

会社概要 経営陣

代表取締役社長

井宮 大輔 1976年5月生

- 2000年4月 ソニーグループ株式会社入社（旧：ソニー株式会社）
- 2012年8月 ソニー株式会社（旧：ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社）
- 2017年8月 Qrio株式会社 取締役（非常勤）
- 2018年4月 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
- 2020年4月 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
IoT事業部・ビジネスプラットフォーム部 部長
- 2021年6月 当社代表取締役社長

取締役

井宮 大輔
中川 典宜
田村 正

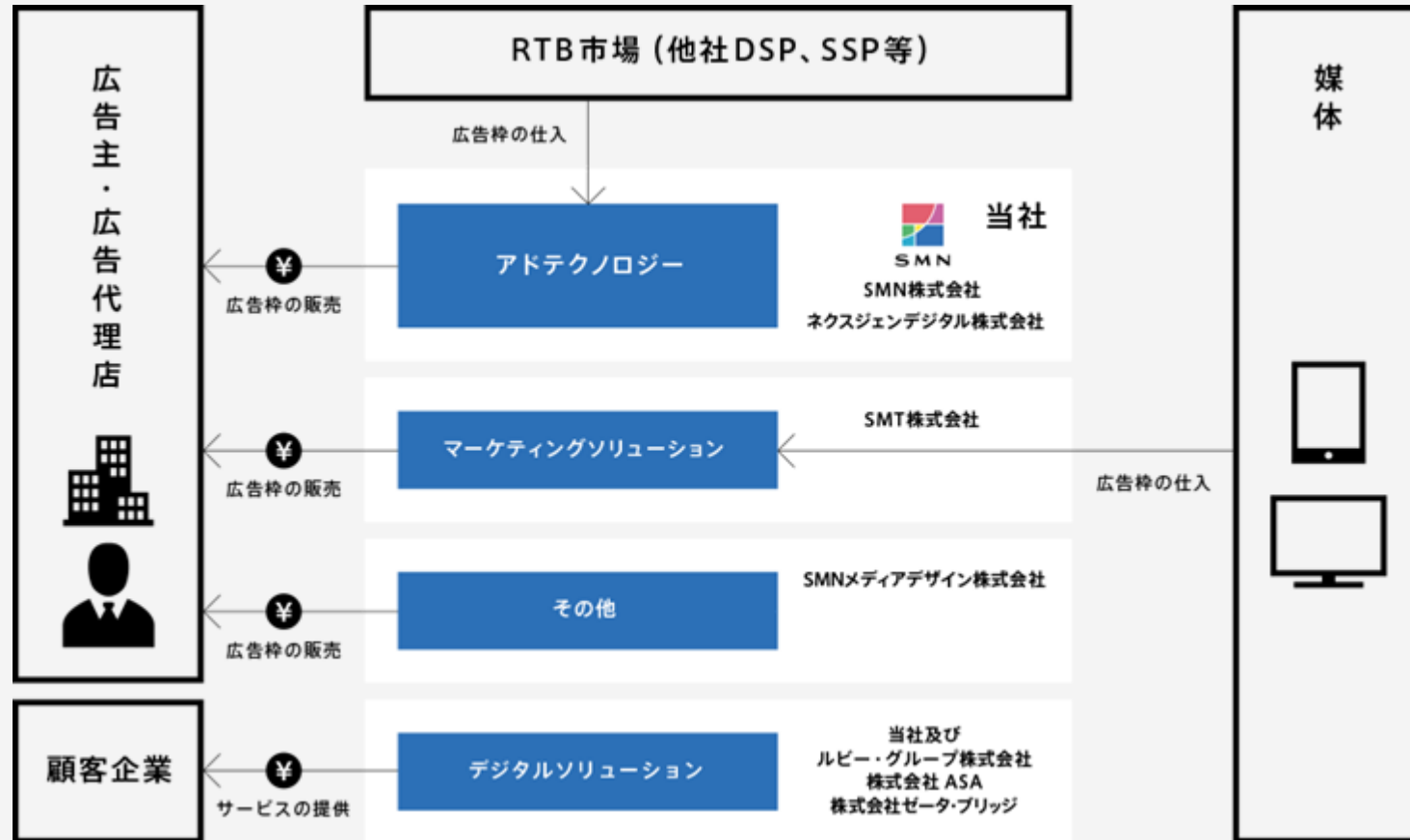
取締役（監査等委員）

本間 俊之
吉村 正直
相内 泰和

執行役員

井宮 大輔
内藤 剛人
大野 豊
安田 崇浩
鈴木 勝也

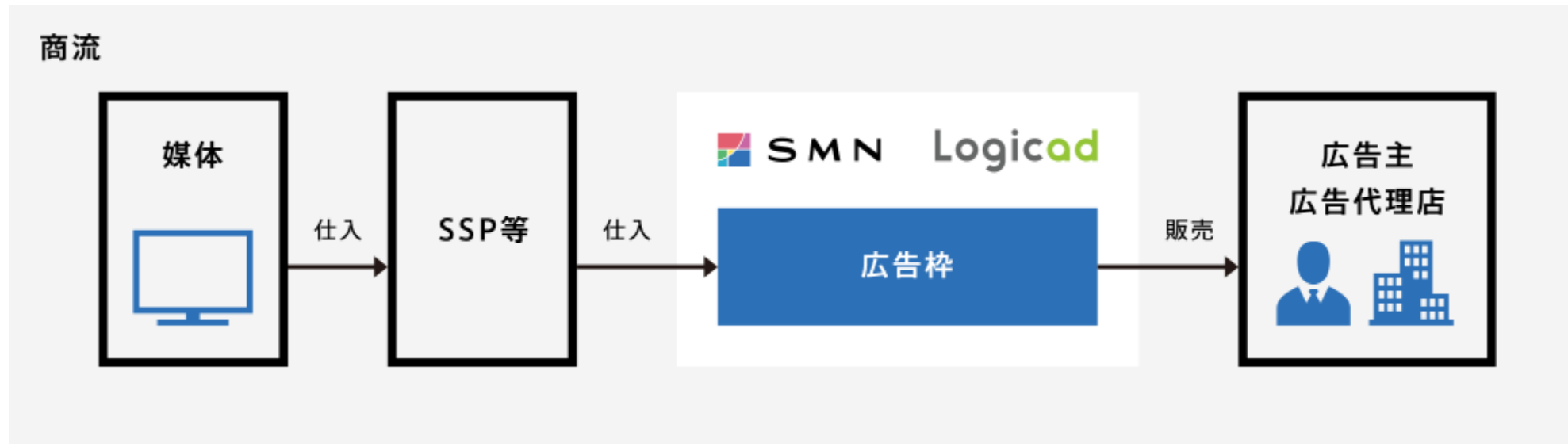
会社概要 事業概要



オークション形式でリアルタイムに広告買付を行う プラットフォームDSP「Logicad（ロジカド）」を提供

「Logicad」は、独自のアルゴリズムにより、それぞれの広告主に応じて最適なターゲット、タイミング、場所（掲載面）」で、広告リーチする自社開発のDSP(Demand Side Platform)です。

独自開発のAI「VALIS-Engine」を搭載し、潜在顧客層に対して高精度なターゲティング広告配信を実現し、広告効果を最適化します。現在、プログラマティック広告の各種ソリューションとの連携により更なる進化を遂げています。



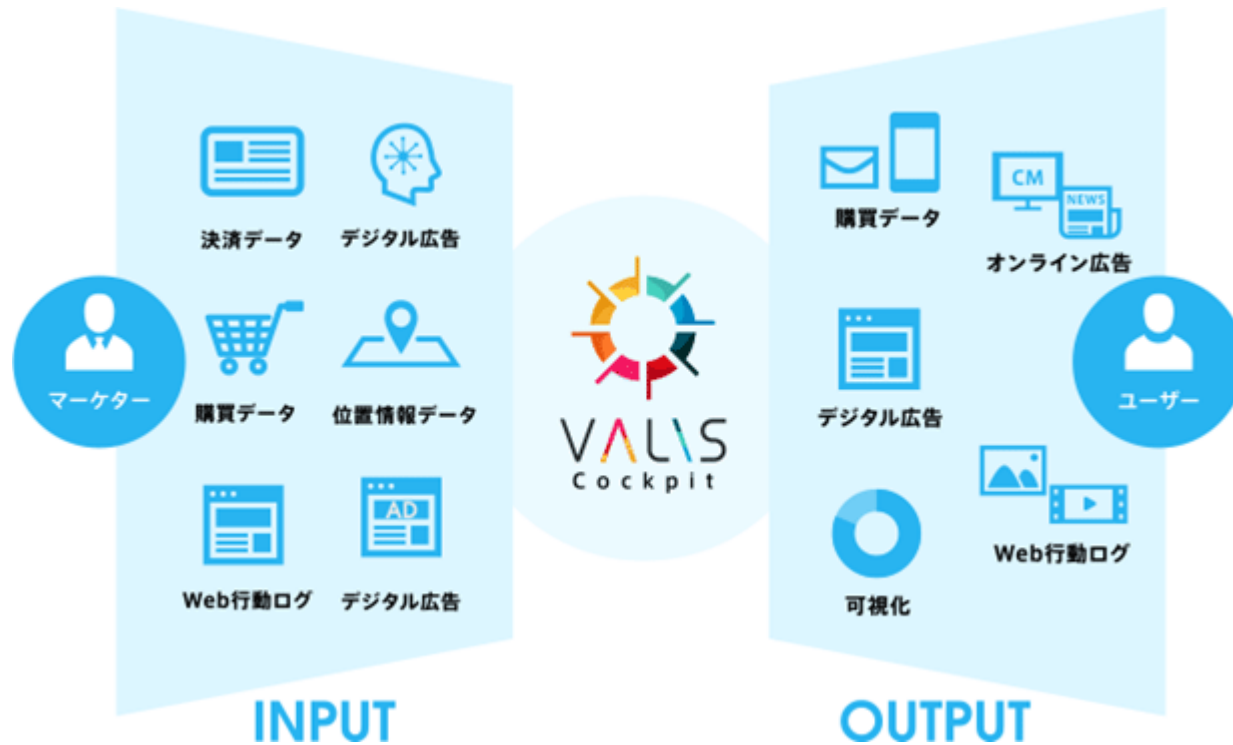
人・物・情報の価値判断を超高速・高精度に実現するAI

ソニーの研究所で培った機械学習の知見をシーズとして、当社データサイエンティスト・AIエンジニアがフルスクラッチで研究・開発したAIエンジンです。「VALIS-Engine」のテクノロジーを商品やサービスに導入することで、「貰って嬉しい広告」「機会損失の最小化」の実現を目指しています。



マーケティングAIプラットフォーム

マーケティングの上流から設計する、フルファネルでの広告アプローチを人工知能「VALIS-Engine」を用いてサポートし、マーケターの課題解決に貢献します。

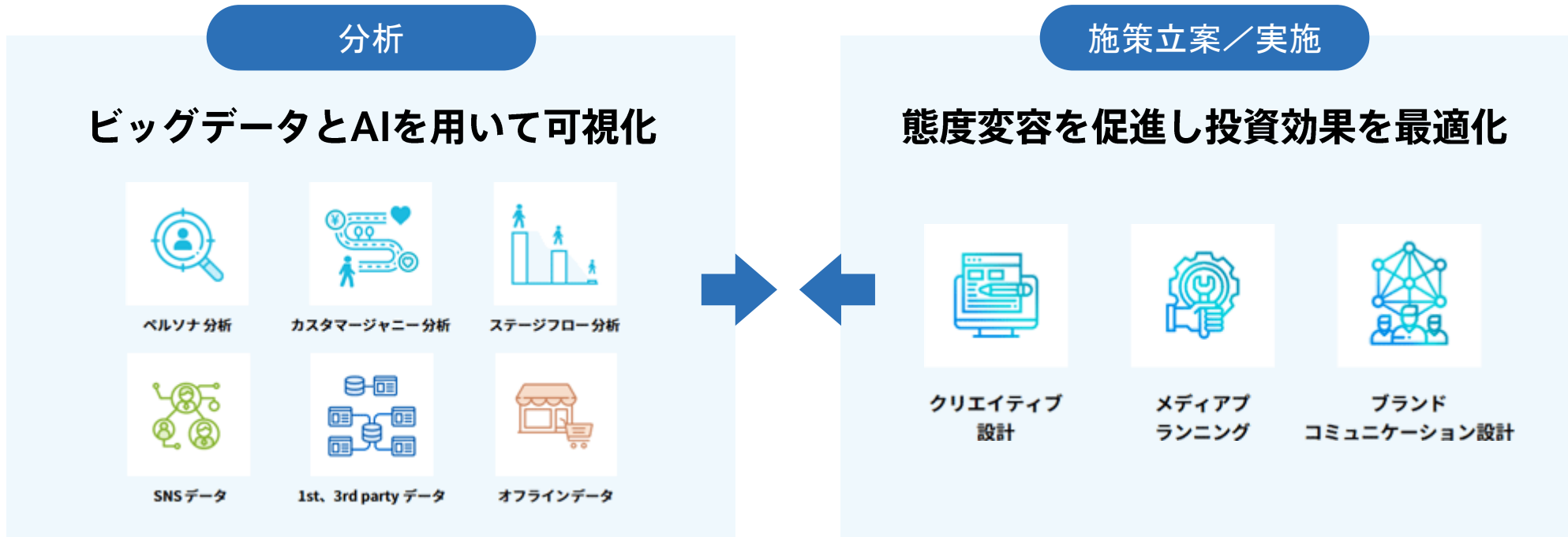


「VALIS-Cockpit」の特徴

- 1 Web行動解析などの結果を可視化、潜在顧客層の発見に貢献
- 2 コミュニケーションメッセージを最適化するための情報も可視化
- 3 当社プラットフォーム「Logicad」と連携し、最適なメディアへ配信

ネクスジェンデジタル株式会社

AIや機械学習などの情報処理技術を応用し、最先端のアドテクノロジーに精通したコンサルタントがマーケティング課題の解決を図ります。ユーザー理解から戦略・施策立案、施策実行、効果検証に至る統合マーケティング支援によって、投資対効果の最適化を実現します。



成果報酬型コンテンツマーケティングサービス

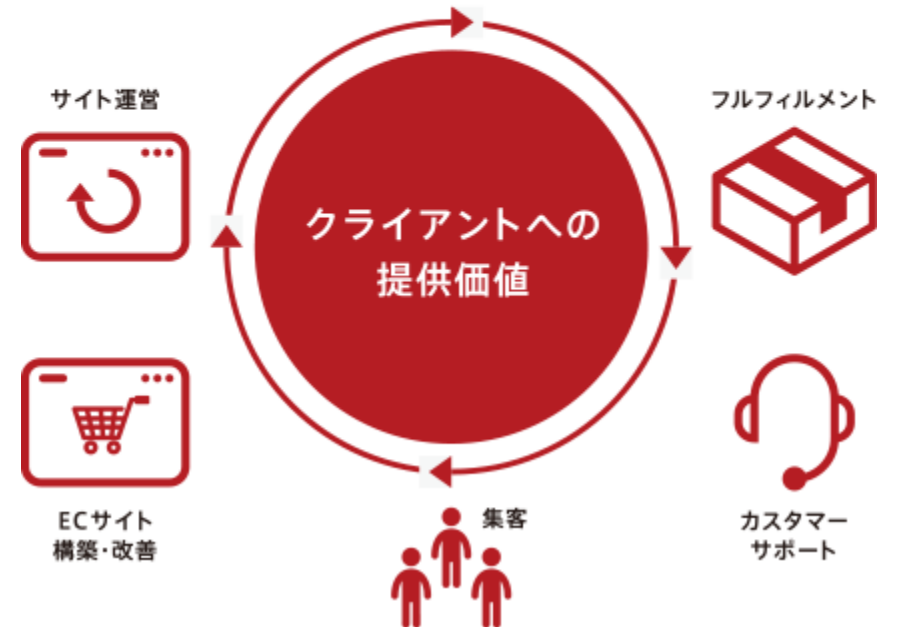
信頼できるパートナーサイトに限定して成果報酬型のコンテンツマーケティングを展開することで、質を担保しながら効果的な顧客獲得施策の実施が可能



デジタルソリューション

ラグジュアリー ブランド向けEC支援大手 「ルビー・グループ」

デジタルマーケティング、Eコマースシステムの構築・運用、フルフィルメント業務（倉庫管理、在庫管理、受発注など）、カスタマーサポートを含むオペレーションをワンストップで提供
SMNのDX領域ノウハウを併せ、ブランドのロイヤリティそのままをネットで体験する顧客価値を創出



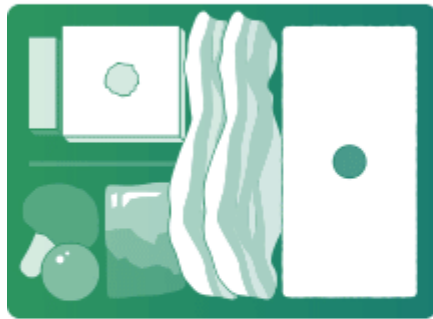
技術子会社ゼータ・ブリッジ

ゼータ・ブリッジは音声・画像認識技術に強みを持ち、全国各地のテレビCMデータの販売など、多彩なサービスを提供しています。

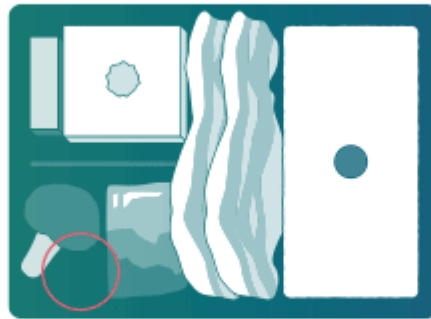
新サービス「フォトナビ・目視レス」は、人間が目で見えて脳で判断する感覚に近い独自開発の画像認識アルゴリズムで、画像の中から特定の条件に当てはまる領域を検出し、類似する色・形・模様などを瞬時に自動検出するものです。

画像認識技術を活用した「フォトナビ・目視レス」

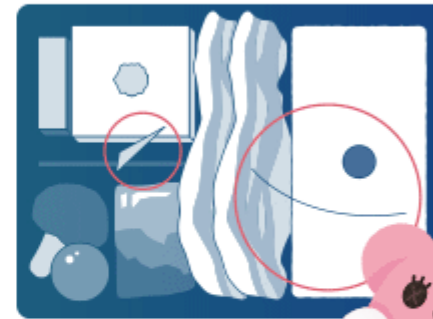
SCAN 01 異常なし



SCAN 02 欠品(トマト)



SCAN 03 異物発見



異物混入の発見をはじめ、パーツや具材の過不足を自動判定



デジタルソリューション

デジタルコンテンツ制作およびQA子会社ASA

大手クライアントと直取引を持ち、広告主の1st Partyデータ×SMNによる分析で他社にない付加価値を提供

PRODUCTION

Web

App

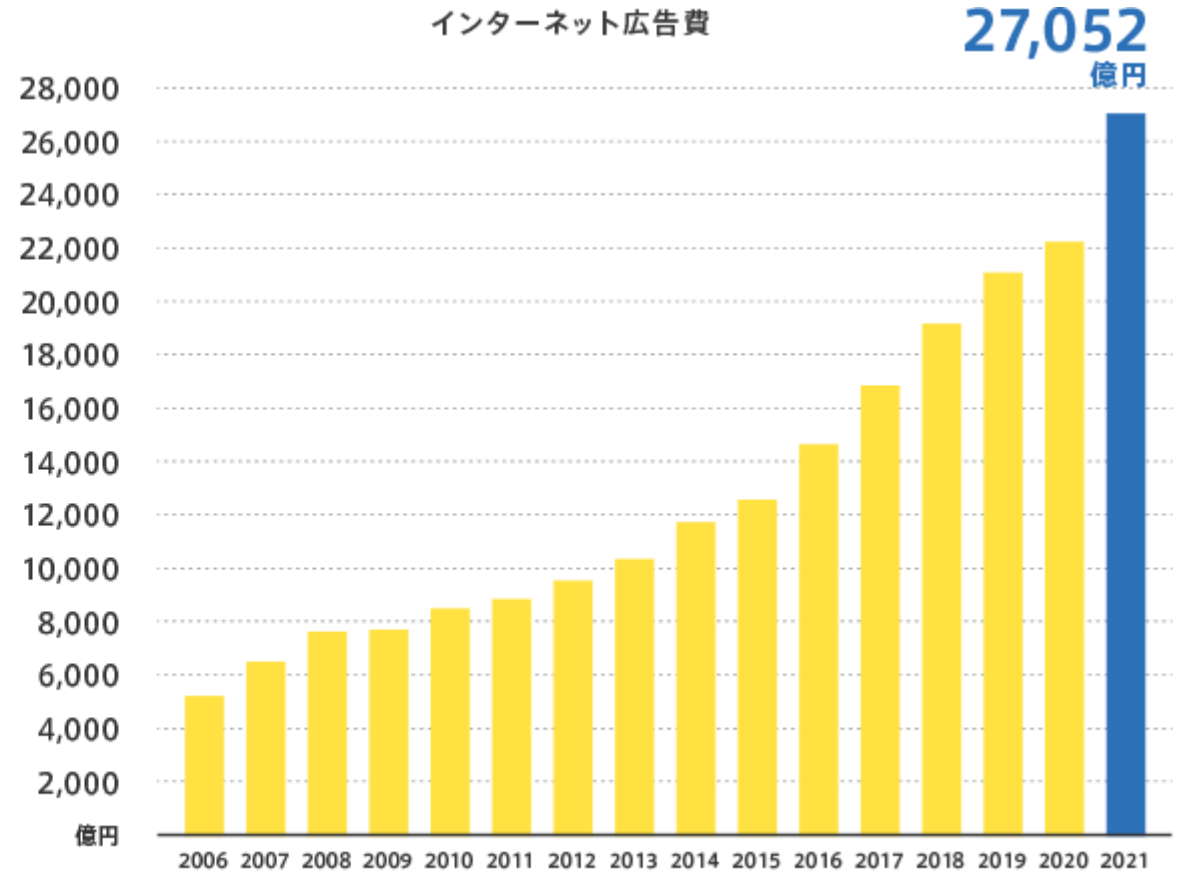
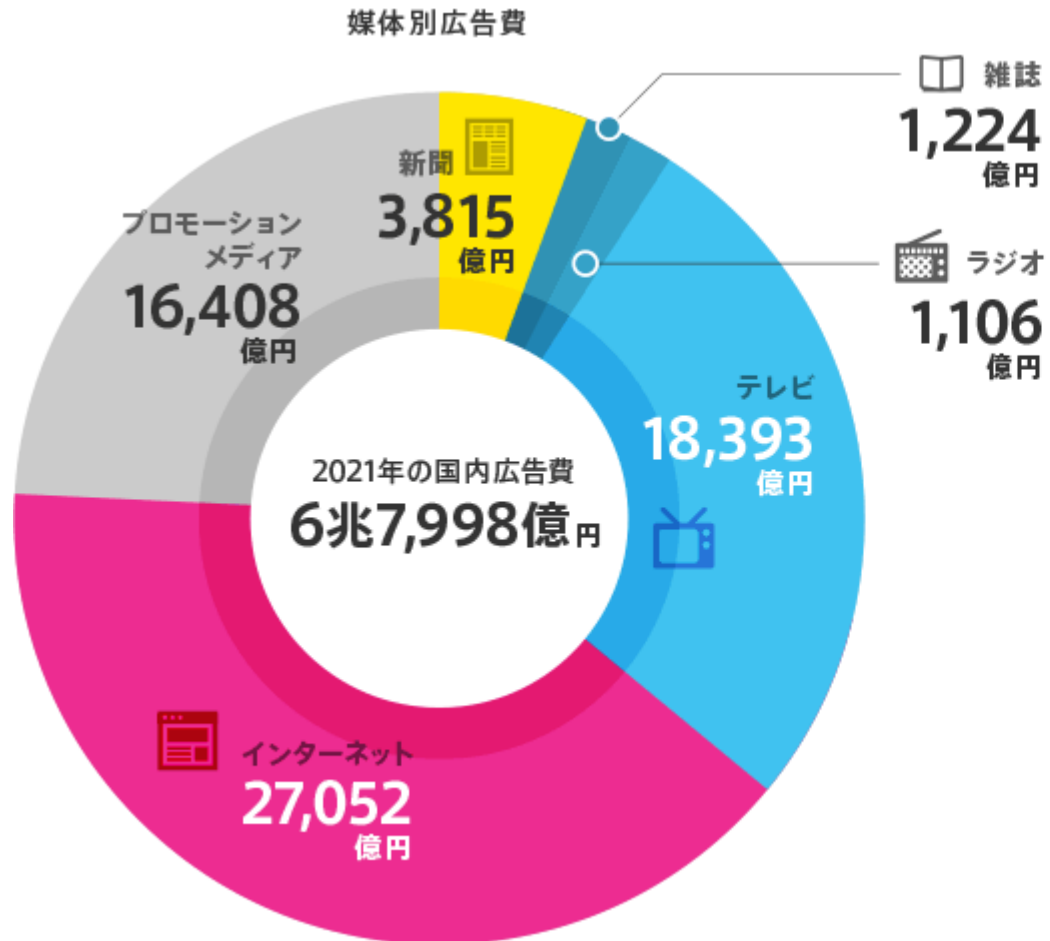
Movie

QA

VR/AR

Web

国内のインターネット広告市場



出典：電通「2021年の日本の広告費」